

令和7事業年度

決 算 報 告 書

自：令和7年4月 1 日

至：令和8年3月31日

国立大学法人静岡大学

令和7年度決算報告書

国立大学法人静岡大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	8,950	9,756	806	(注1)
施設整備費補助金	1,324	311	△ 1,012	(注2)
船舶建造費補助金	－	－	－	
施設整備資金貸付金償還時補助金	－	－	－	
補助金等収入	346	1,328	982	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	19	19	－	
自己収入	6,254	5,067	△ 1,186	
授業料及び入学料検定料収入	5,994	4,807	△ 1,187	(注4)
附属病院収入	－	－	－	
財産処分収入	－	－	－	
雑収入	259	260	1	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,159	2,503	343	
産学連携等研究収入及び寄附金収入	1,933	2,279	346	(注6)
その他	226	224	△ 2	
長期借入金収入	－	－	－	
貸付回収金	－	－	－	
承継剰余金	－	－	－	
旧法人承継積立金	－	－	－	
目的積立金取崩	322	99	△ 223	(注7)
計	19,377	19,087	△ 290	
支出				
業務費	15,497	15,061	△ 436	
教育研究経費	15,497	15,061	△ 436	(注8)
診療経費	－	－	－	
施設整備費	1,343	330	△ 1,012	(注9)
船舶建造費	－	－	－	
補助金等	346	346	0	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,159	2,321	161	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費	1,933	2,096	163	(注11)
その他	226	224	△ 2	
貸付金	－	－	－	
長期借入金償還金	30	29	1	(注12)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	－	－	－	
計	19,377	18,089	△ 1,287	
収入－支出		997	997	

注：百万円未満の端数については、切捨て表示してあります。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では未定であった退職手当や物価対策等の追加配分により、予算額に比して決算額が806百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階で予定していた額よりも補助金が少なかったため、予算額に比して決算額が1,012百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階で予定していた額よりも多くの補助金を得られたため、予算額に比して決算額が982百万円多額となっています。なお補助金等収入の決算額には、授業料等減免費交付金が982百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しています。
- (注4) 授業料及び入学料検定料収入については、授業料・入学料免除の実施や適正な定員管理に努めたことにより、予算額に比して決算額が1,187百万円少額となっています。
- (注5) 雑収入については、特許実施料等収入や定型的試験等収入の増加などにより、予算額に比して決算額が1百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究費等及び寄附金の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が346百万円多額となっています。
- (注7) 目的積立金取崩については、次年度への事業繰越等により、予算額に比して決算額が223百万円少額となっています。
- (注8) 教育研究経費については、節減や予算執行の効率化に努めたことにより、予算額に比して決算額が436百万円少額となっています。
- (注9) (注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が1,012百万円少額となっています。
- (注10) 差額なし
- (注11) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、受託研究費等及び寄附金の獲得に努めたことや事業繰越となったこと等により、予算額に比して決算額が163百万円多額となっています。
- (注12) 長期借入金償還金については、予算額では利息額を含め計上していますが、決算額では利息額は教育研究経費へ計上しているため、予算額に比して決算額が1百万円少額となっています。